



ワーク・ライフ・バランスで時間を大切に

ワーク・ライフ・バランスとは「仕事と生活の調和」のこと。仕事で早く帰ることができない。子育てや家事でやるが多すぎてプライベートの時間が取れない。そんな悩みは、ワーク・ライフ・バランスで解決しましょう。

ワークとライフは同じもの

では、実際のどのようなことをすれば良いのでしょうか。意識調査からも分かるように、一般的に「男性は仕事」「女性は家事」の割合が強くなっています。ワークとライフを別に考えるのではなく、同じものとして考えてみましょう。上の図にあるように、絶対量を増やすのではなく、バランスを取ってワークとライフを増減させましょう。

一緒に始めることが大事

女性はワークを増やし、ライフを減らす。男性はワークを減らし、ライフを増やす。お互いの行動で、ワーク・ライフ・バランスは成り立ちます。1日の時間は誰でも24時間しかありません。時間を上手に使って、お互いが助け合うことでバランスを取りましょう。

大津の子どもたちにも、歴史や文化を継承する

人を愛する心を伝える

大津の素晴らしさ

大津町の都市宣言の特徴は、歴史や文化などの継承が盛り込まれ、子どもたちに人を愛する心を伝えるために男女共同参画を進めることです。大津町の男女共同参画は、私たちと私たちの次世代のために進めます。

男性も女性も一人一人が「自分らしく生きる」と考えられ、実行できる社会が男女共同参画社会です。私たちも自分らしく生きることで、明日の大津を背負っていく大津の子どもたちの自分を愛する力が高まります。それが、人を愛する心につながるのではないのでしょうか。

「自分らしく生きる」が自分だけのためだけではなく、子どもたちのためというところが、大津町の男女共同参画の素晴らしさではないのでしょうか。

そのためにできること

児童虐待や性的虐待、DVなどは、性別や身体的特徴で起こる虐待です。自分らしく生きることは、その人がその人らしく生きることです。虐待は決してあってはならないこと。自分の立場に立った行動が必要です。そして、自分らしく生きるために、プライベートの充実も必要です。しかし、家事や仕事でプライベートがおろそかになってしまいがちです。人生の充実のために、賢い時間の使い方である「ワーク・ライフ・バランス」を実践してみましょう。

大津の未来のために

同じ思いでー 3

男女共同参画



上：台本を元に、念入りに打ち合わせを行います
下：ほりだし劇団の皆さん。一人一人が主役です



「ほりだし」の意味は

物語は、公演依頼があればそのイベントの主旨に沿って話を作っていきます。その数は15話以上になりました。

「いくつも作ったのは、いくつも伝えたいことがあったからです。男女共同参画社会に向けて、見直さなければならぬところが多かったです」とメンバーは声を揃えます。

地域の男女共同参画に対する意識は、簡単には変わるものではありませんが、少しずつ変化しています。それはメンバーも同じです。最初は「夫の意識を変えてやる」と思い始めたものの、今では「夫の協力」に気が付き、感謝することができているといえます。

ほりだし劇団の活動は、劇を見た人たちだけでなく、メンバーの意識も「ほりだし」ことのできています。

演劇で行う男女共同参画のススメ

ほりだし劇団



あくまでも啓発劇

2月13日午後8時、中陣内地区農事集会所（公民館）からせりふを読み上げる声が聞こえます。「こうやってたらどうだろう」「お年寄りは、こうじゃない?」時には笑いながら、時には真剣に話し合いを続けています。

皆さんは「ほりだし劇団」のメンバー。同劇団は、男女共同参画に対する意識の低さやいまだに残る古い慣習などに警鐘を鳴らしたいという思いから結成されました。女性メンバーのみ

ほりだし劇団は、本当の男女共生の社会を目指して活動を行っています。肥後弁での演技が親近感を生み、親近感が、自分の行動に共感と疑問を持つ、劇になっていきます。

代表の吉良鶴雄さん（陣内）は「ほりだし劇団」に誇りを持っていると話します。劇団名は、大津の特産であるからいも「ほ

で誕生した劇団も、結成から10年が経過した今では男性も加わって、男性と女性の双方の視点から考えた内容の深い劇を創り出しています。